

10-

11

I-0388

0033

名 件
本館蔵書
昭和八年四月廿二日

第一課長
昭和八年四月廿二日接受

外務部
外務第九三二號

昭和八年四月二十一日 警視總監 藤沼庄平

内務大臣 山本達雄殿
外務大臣 内田康哉殿

亞細亞局

神奈川、京都、飯
兵庫、福岡、青森、秋田、北海道

各廳所長官殿

時局滿蒙展覽會開催ノ件

滋草區小島町五七、

益世時報社

右幾行人 鈴木喜作

右時報社主催ノ下ニ來ルニ十二、三、兩日、滋草區清
島町統一閣ニ於テ首題展覽會ヲ開催シ滿洲

ニ於テ鹵獲セル文那、東北軍外各抗日義勇軍、大カ
隊、紅槍會等匪賊軍快用ノ軍旗、文書、武器及
各種写真等約一千矣ヲ陳列シテ一般ノ無料觀覽
ニ供シ且二十三、四、下谷公會堂ヲ其ノ第二會場トシテ
陸軍省映画ヲ上映シ又弘前新聞、秋田魁新聞
、從軍記者山王丸、蘭洲及陸軍將校ノ熱河討伐
ノ講演ヲナス趣ナリ
右及申（通）報候。

記
12.6.29
録

時局滿蒙展覽會

并に熱河討伐講演開催

舉國的總動員、日本は今非常時秋である。張作霖、學良は既に過去に属す。馬占山亦た然り。今や暴逆飽なき偽勇軍、熱河の討伐も我が忠勇烈士の血を以て洗禮せられたり。眞に滿蒙の近情を認識するは是れ現代日本人の常識なり。此の機会を逸せず來り見よ。來り聽け。一見は百聞に如かず。

本社は、錦州入城、山海關陷落、熱河討伐等々〇〇部隊と共に、第一線を馳驅活躍せられた從軍記者山王丸蘭洲氏に懇請し、歸京其の第一聲を左記會場に於て舉げて頂くことにした。氏は三月三十日歸京、來る廿五日弘前第八師團原隊地へ赴かれるに付絶体日延無し

日時 四月廿二日(土)午前九時より午後五時
四月廿三日(日)午前九時より午後五時
場所 統一閣(淺草區清島町電車通)

出品目録概要

押収軍旗

東北陸軍何柱國用大民國旗
東北民衆救國軍第二總隊旗
東北民衆救國軍獨立第二旅衛隊旗
東北民衆自衛軍義勇軍旗 外四点

土匪大刀隊

神兵大刀隊(指揮者劉指東用)血染め
大刀隊呪文一原本
大刀隊占據底(頭目老平東洋局血盟座)
大刀隊占據底帽子
大刀隊員呪文と呪文入袋 青龍刀

匪賊紅槍會

紅槍會呪文袋と呪文
紅槍會員血盟符
紅槍會用槍三本(一本呪文附著)

兵匪印章、帳簿、手形

東北民衆抗日軍自衛軍印章
大刀隊本部銃器調帳
大刀隊本部會計簿(豚焼餅彈丸記載有)
匪賊用發行手形(梨車掠奪証明)

山海關陷落紀念

東北陸軍兵器 春秋刀、青龍刀、鎌
同 進軍用太鼓、何柱國旅長馬鞍
第九旅司令部馬占山將軍切抜帳
正規軍(第三旅)逃亡兵軍法會議決裁籍
東北陸軍正規軍進及試驗答案綴
陸軍獨立第九旅司令部宿直日誌
第九旅乃至獨立部隊將校履歷簿
山海關警備司令部文書發送簿
東北陸軍第九旅會計簿

正規軍將校帽子肩章副官章

腕章其他十種

〇抗日鐵血救國軍〇鐵面救國軍〇義勇軍
〇自衛軍〇聯盟救國抗日軍〇聯盟義勇軍
〇第九旅兵〇民衆救國軍政委員等
〇步兵銃(血痕附著)〇短銃〇彈藥掃帚
(血痕)〇軍帽〇軍衣〇重機保彈板
東北軍山砲藥莢〇小銃モーゼル英〇手榴彈袋〇防塞帽〇第九旅演習寫眞〇兵士用冬靴 以上四十七種百餘点

滿蒙時局資料

飛行機より見た匪賊根據地 (寫眞十五葉)
滿洲國宣傳ビラ
滿洲特産品(五十餘点)
滿洲事變寫眞、スケッチ(六十餘点)
滿蒙宣傳文書類(五十餘点)
滿蒙農務課、資源館、弘報掛、日滿文化協會、伊藤書伯スケッチ等 (百五十餘点)

其他參考資料

滿蒙併に民風風俗寫眞(二百餘点)
支那漢藥(龍骨外五十餘点)
英語に現れた支那研究書五十餘冊等々
總計約壹千点

講演者 山王丸蘭洲氏

(略歴)
東京通信中央新聞滿洲日報奉天支社長
上海漢口、北京、内外蒙古、伊爾庫斯克、英斯科、クリムヤ、シベリヤ、レンニングラフ、台灣總督府、南支那支那調查出張所、弘前新聞、秋田新聞記者

主催

益世時報社

淺草區小島町五十七番地
電話淺草四七四六番

滿、支、蒙、實情に關し特に「講演會」を主催せられる方の爲めに願す。
希望者は至急本社宛御申込を。

時局満蒙展覧會

井に 熱河討伐講演開催

舉國的總動員、日本は今非常時秋である。張作霖、學良は既に過去に属す。馬占山亦然り。今や暴逆飽なき偽軍、熱河の討伐も我が忠勇烈士の血を以て洗滌せられたり。眞に滿蒙の近情を認識するは是れ現代日本人の常識なり。此の機会を逸せず來り見よ。來り聽け。一見は百聞に如かず。

本社は、錦州入城、山海關陥落、熱河討伐等々〇〇部隊と共に、第一線を馳騁活躍せられた從軍記者山王丸蘭洲氏に懇請し、歸京其の第一聲を左記會場に於て舉げて頂くことにした。氏は三月三十日歸京、來る廿五日弘前第八師團原隊地へ赴かれるに付絶体日延無し

日時 四月廿二日(土) 午前九時より午後五時

場所 統一閣 (淺草區清島町電車通)

出品目録概要

押収軍旗

東北陸軍何柱國用大民國旗
東北民衆救國軍第二總隊旗
東北民衆救國軍獨立第二旅衛隊旗
東北民衆自衛軍義勇軍旗 外四点

土匪大刀隊

神兵大刀隊(指揮者劉指東用)血染め
大刀隊呪文(一原本)
大刀隊占據底(頭目老平東洋局血盟座)
大刀隊占據底帽子
大刀隊員呪文と呪文入袋 青龍刀

匪賊紅槍會

紅槍會呪文袋と呪文
紅槍會員血盟符
紅槍會用槍二本(一本呪文附著)

附言

會場 第一統一閣(廿二、三日夜午後五時迄)
第二下谷區公會堂(廿三日夜六時から大講演)

從軍記者 山王丸蘭洲氏 陸軍省特派將校

主催 益世時報社

後援 在郷軍人會淺草區分會
下谷區戰友會
在郷軍人會下谷區分會

東北陸軍第九旅會計簿

主催 益世時報社

滿、支、蒙、實情に關し特に「講演會」を主催せられる方の爲めに應ず。
希望者は至急本社宛御申込。

腕章其他十種

正規軍將校帽子肩章副官章
〇抗日鐵血救國軍〇鐵面救國軍〇義勇軍〇自衛軍〇聯盟救國抗日軍〇聯盟義勇軍〇第九旅兵〇民衆救國軍政委員等
〇步兵銃(血痕附著)〇短銃〇彈藥帶(血痕)〇軍帽〇軍衣〇重機保彈板〇東北軍山砲藥筒〇小銃モーター英〇手榴彈袋〇防塞帽〇第九旅演習寫眞〇兵士川冬靴 以上四十七種百餘点

滿蒙時局資料

飛行機より見た匪賊根據地 (寫眞十五葉)
滿洲國宣傳ビラ
滿洲特産品(五十餘点)
滿洲事變寫眞、スケッチ(六十餘点)
書類(五十餘点)

他參考資料

國風俗寫眞(二百餘点)
龍骨外五十餘点
た支那研究書五十餘冊等々
約壹千点

者 山王丸蘭洲氏

中央新聞滿洲日報奉天支社社長
北京、内外蒙古、伊爾、甘肅、察
ハルビン、シビール、レンニングラ
秋田縣新聞從軍記者

淺草區小島町五十七番地
電話淺草四七四六四番